



# 正月遊びでいきいき製作活動



～南風原町立南風原幼稚園 嘉数正悟教諭の検証保育(1/26AM)～

1月26日(金)は検証保育・検証授業の最終日。島尻教育研究所初の男性幼稚園研究員の嘉数正悟教諭が製作活動の検証保育を公開しました。

嘉数教諭は、近年の子どもを取り巻く生活環境の変化から、幼児期の子ども同士の関わりや、身近な物を使った製作活動、自分たちで遊びを作り出す活動が減ってきていると考え、いろいろな素材を使っての製作活動を研究テーマにしています。

12月の検証保育ではクリスマス行事を盛り上げるツリーやオーナメントを製作し、みんなで飾り付け、飾ったツリーを囲んでダンスで雰囲気を楽しみました。嘉数教諭は、一人一人の製作への思いをくみ取り、寄り添って声をかけ、子ども同士を繋げたり、遊びを集団化したり、また想像力を膨らませるように、豊富に素材を集め、子どもたちの手の届く場所に配置するなど主体的に活動できるよう工夫しました。

本検証保育では、こまやすごろく、はねつき、けん玉など正月遊びをテーマに一人一人が作りたい物を自ら作成し、互いの良さを認め合う中で充実感・達成感を味わえるように支援しました。子どもたちは自ら工夫したすごろくで遊んだり、こまやはねつき遊びを楽しみ、遊びを通して互いの作品の良さを確認していました。

振り返りでは得意そうに手作り太鼓をならしている男児やみんなの声援を受けてけん玉をする男児。オリジナルの「飛ぶこま」が登場すると女児の大きな歓声が上がりました。それぞれの子どもの思いが活かされた手作りの作品を認められた子どもたちは、満足そうに明日からの活動に取り組んでいくことと思います。すばらしい検証保育でした。



子どもたちの思いが詰まったツリー



正悟サンタ大活躍



子どもの発想力はすごい!!



すぐに作りたくなる環境設定

## ＜研究テーマ＞

幼児が表現する楽しさを味わい、  
主体的に活動するための環境構成と援助の工夫  
～いろいろな素材を使っての製作活動を通して～

## ＜検証保育の視点＞

- 1 幼児一人一人が自分の作りたい物を製作し、表現することを楽しめるような環境構成がされているか。
- 2 いろいろな素材を使って製作活動を行っていく中で、達成感や充実感を味わえるような援助の工夫をしているか。(幼児の思いに寄り添った言葉かけ、作品を使っての遊びを楽しめるような関わり方)
- 3 製作したおもちゃを使って遊ぶ中で、互いの良さを認め、充実感を味わう姿が見られたか。

## 検証保育を終えて(嘉数正悟教諭)

子どもたちが作って遊ぶ中で、互いの作品の良い所や製作の過程を認め合い、充実感を味わってほしいと思い、準備をしました。事前の活動の盛り上げ方や、準備物の種類・数などに課題が残る実践でしたが、子どもたちの自由な発想と表現力でとても楽しい活動になりました。「あれ作りたい」「おほ～、スゴイ」と、子どもたちの声上がる場面もあり、とてもうれしく思います。今回の保育で気づけた課題を見つめ直し、改善へ向けて今後も頑張っていきたいと思います。検証保育当日までご指導いただいた所長はじめ、研究所の主事の先生方、南風原幼稚園園長、職員の皆様、研究員の先生方に感謝申し上げます。

